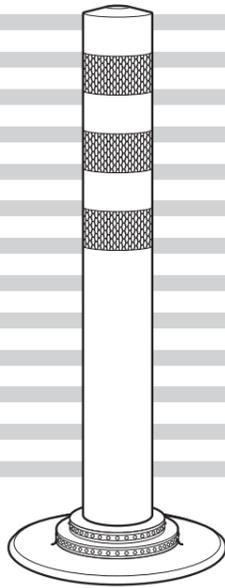


セキスイ

## ポールコーン® 取扱説明書

NF(接着)タイプ・GBF(接着)タイプ・PF(接着)タイプ

※施工業者の方へ / この取扱説明書は、工事完了後ユーザー様にお渡しください。  
 ※ユーザー様へ / この取扱説明書は、メンテナンス時にも必要です。大切に保管してください。



PC-□□NF□□-N  
 PC-□□GBF□□-N  
 PC-□□PF□□-N

準備していただく機械・工具・材料など	使用用途
カラーコーン、工事用バリケード	作業員の安全確保
清掃用ブラシ	設置面、設置孔内部の清掃
接着剤塗布用ヘラ	接着剤の塗布
接着剤(エポキシ系)*	ポールコーンの路面設置・固定

\*当社ロードボンドをご使用ください。

## 使用上のご注意

このたびはセキスイポールコーンをお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。  
 お求めの製品を正しく使用していただくためにこの取扱説明書をよくお読みください。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が想定される内容を示します。

## 設計者の方へ



警告

車両がひんばんに接触する場所へは設置しないでください。路面から外れるおそれがあり危険です。車両が接触する可能性がある場所へは、アンカータイプをご使用ください。



注意

新設のライン上および新設の舗装上へは設置しないでください。十分な接着強度が得られず、外れるおそれがあり危険です。



注意

設置位置はなるべく平らな場所を選び、障害物がある場所や凹凸のある場所は避けて設置してください。十分な接着強度が得られず、外れるおそれがあり危険です。

## 施工業者の方へ



警告

施工は、安全用具、交通整理員等を置いて安全を確保した上で行ってください。また、保護手袋や保護メガネ等の保護用具を着用して、安全に作業してください。



注意

当社ジスロンボンドおよび砂入りのエポキシ接着剤は、ご使用にならないでください。十分な接着強度が得られません。

## 《施工上の注意》

- 硬化時間内の加圧・衝撃は避けてください。十分な養生時間をとらずに交通開放を行いますと、がたつきが生じて製品に不具合が生じたり、路面から外れるなどして危険です。
- 気温 5℃未満での施工は避けてください。接着剤の硬化が著しく遅くなります。
- 降雨、降雪時の施工は避けてください。接着剤が硬化しない場合があります。
- 施工面が水分、油分を含んだ状態では施工しないでください。接着しない場合があります。

- 当社ロードボンドの可使時間、硬化時間の目安は以下のとおりです。

気温	30℃	23℃	5℃
可使時間	10分	20分	60分
硬化時間	3.5時間	6時間	16時間

## ユーザー様へ



警告

製品設置後は、定期的に剥離・破損の確認を行ってください。必要な場合は、部品交換など適切な処置をとってください。剥離・破損を放置しますと思わぬ事故につながる可能性があります。

本製品の仕様は、機能・品質改良のため予告なく変更する場合があります。

1

## 部材の確認

施工される前に必ず、納品された部材と納品書が一致するかどうかご確認ください。

	部材名	数量
1	取扱説明書	1
2	ポールコーン	1

2

## 設置位置の決定

なるべく平らな場所を選び、チョークなどで設置場所に目印を付けてください。障害物がある場所や凹凸のある路面は避けてください。また道路の接着面は濡れていないことをご確認ください。

3

## 設置面の清掃

設置面の石粉・砂などは、ブラシやエアガンなどできれいに清掃してください。

4

## 接着剤 ロードボンド (エポキシ系) の混合

主剤と硬化剤の混合比は 1:1 (重量比) です。それぞれを計量し、白 (主剤) と黒 (硬化剤) の筋がなくなりグレーに均一になるまでよく混ぜ合わせます。

製品1本当たりの使用量(主剤+硬化剤)	
ロードボンド	約330g
(路面が平らな場合)	



注意

- 当社ジスロンボンドおよび砂入りのエポキシ接着剤は、ご使用にならないでください。十分な接着強度が得られません。

## 《施工上の注意》

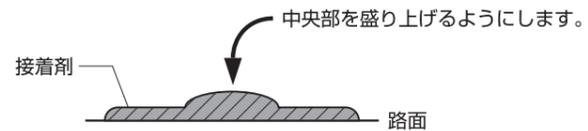
- 接着剤は2液性ですので混合比を必ずご確認ください。混合比を間違えると硬化不良を起こし接着できない場合があります。



5

## 接着剤 ロードボンド (エポキシ系) の塗布

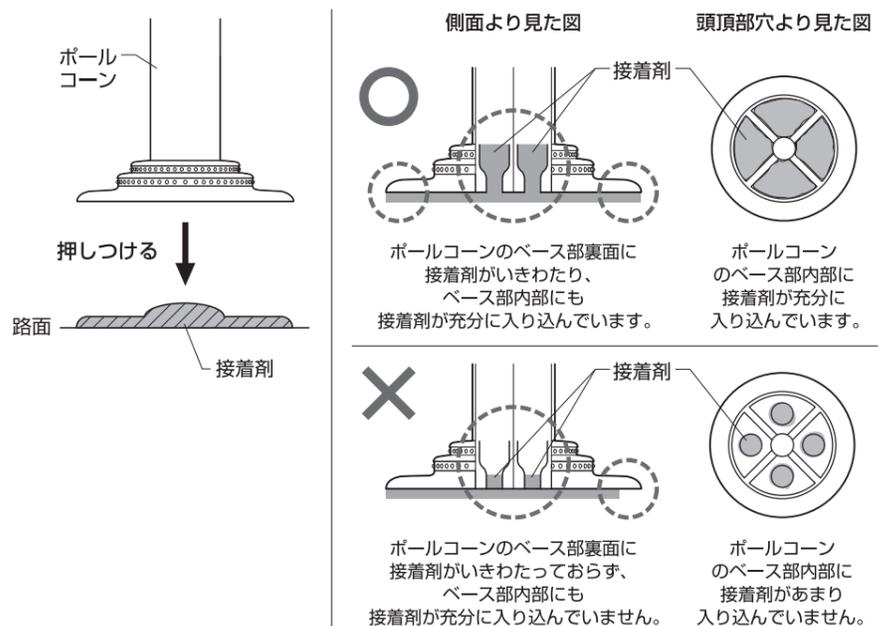
接着剤はポールコーンのベース部全体にいきわたるように、また中央部を盛り上げるようにして路面に塗布してください。中央部を盛り上げるのは、接着剤をポールコーンのベース部の穴から内部に充分に入り込ませ、確実に接着させるためです。ポールコーンの設置面に凹凸がある場合は、必ずベース部裏面に接着剤が接着するように接着剤を多めにしてください。ポールコーン1本当たりの接着剤の使用量は、路面が平らな場合で約330gです。



6

## ポールコーンの設置

まず、ポールコーンのベース部底面のほこり・油分を取り除いてから、接着剤の塗布部にポールコーンのベース部をしっかりと押しつけてください。ポールコーンを確実に接着させるためには、ベース部の穴に接着剤が充分に入り込んでいる必要があります。設置後、ポールコーン頭頂部の空気抜き穴から覗き込んで、接着剤が下図のようにポールコーンのベース部内部に入り込んでいることを確認してください。押しつけた後、周りにはみ出した接着剤を取り除いてください。ポールコーンと路面が密着して、しっかりと固定されているかを確認します。



## 《施工上の注意》

- ポールコーンおよびスワレ反射体に接着剤が付着した場合は、すぐにきれいな布で拭き取ってください。
- 表面にガラスビーズが付いたGBFタイプについては、本体パイプ部分に接着剤が付着しないようご注意ください。再帰反射しくなくなります。

SJC 積水樹脂株式会社

●ご相談窓口 担当事業部 TEL.03-6758-1058